

阪神急行神戸終端驛工事

(1) 竣功せる阪急神戸終端驛ビルデザイン。



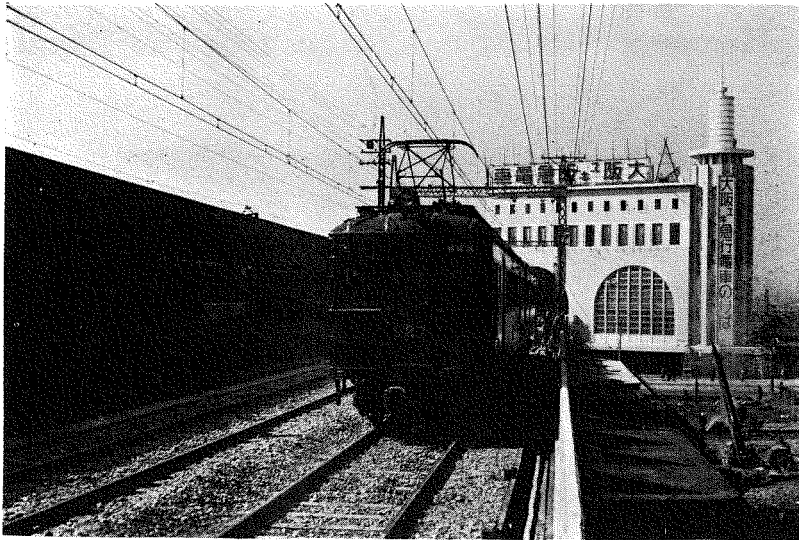
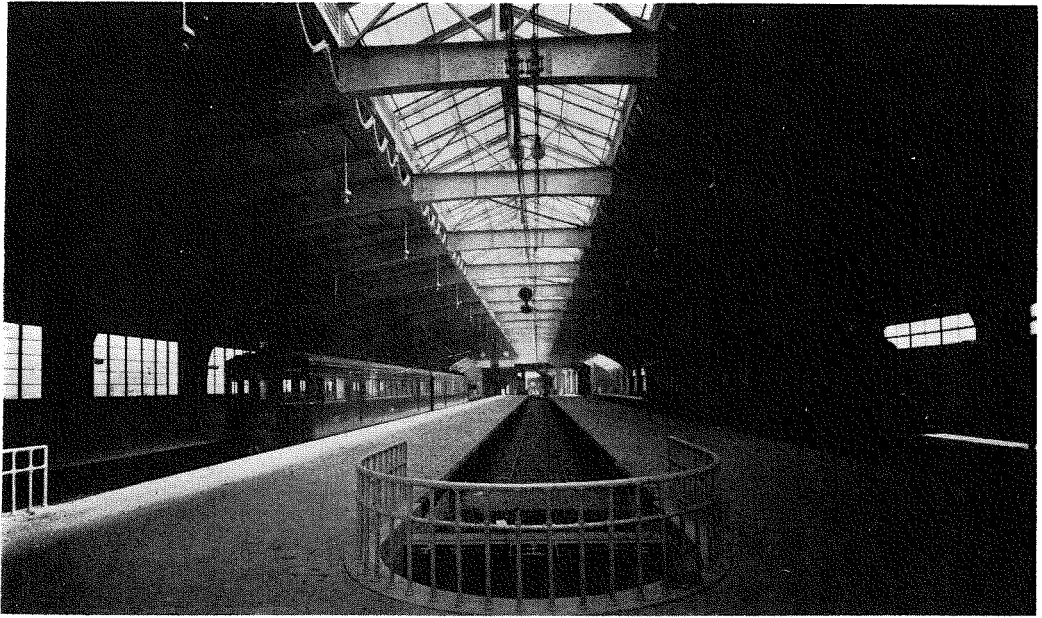
阪神急行電鐵株式会社では大正 8 年地下式により神戸市内元町迄乗入の特許を受け昭和 4 年に高架式乗入に変更、昨年 3 月工事に着手し爾來鋭意工事の進捗を計つてゐたが、豫定の通り全線竣功四月一日開通した。

終端神戸驛工事

工事期間 起工 昭和十年 六月二十七日
 竣工 昭和十一年三月 末
 敷地面積 7,533.90 平方米(2,280 坪)
 建 坪 5,429.68 平方米(1,650 坪)
 總 延 坪 16,516.07 平方米(5,011 坪)

三宮口建物工事

構造 鐵骨、鐵筋コンクリート、地下一階、地上四階建
 高さ 地上 26.60 米(88 尺) 光塔最高部 36.00 米(120 尺)
 様式 近代様式、外装薄緑釉掛タイル貼
 設備 停車場(一階、中二階)食堂(中三階)集會席(三階)の三用途に對しエスカレーター 4 基、エレヴェーター 1 基、冷暖房換氣、給湯水、衛生設備、鑿井防火設備をなし集會席は 1,208 の椅子席を設く



(2) 阪急神戸線
プラットフォーム

(3) 高架線の一部。

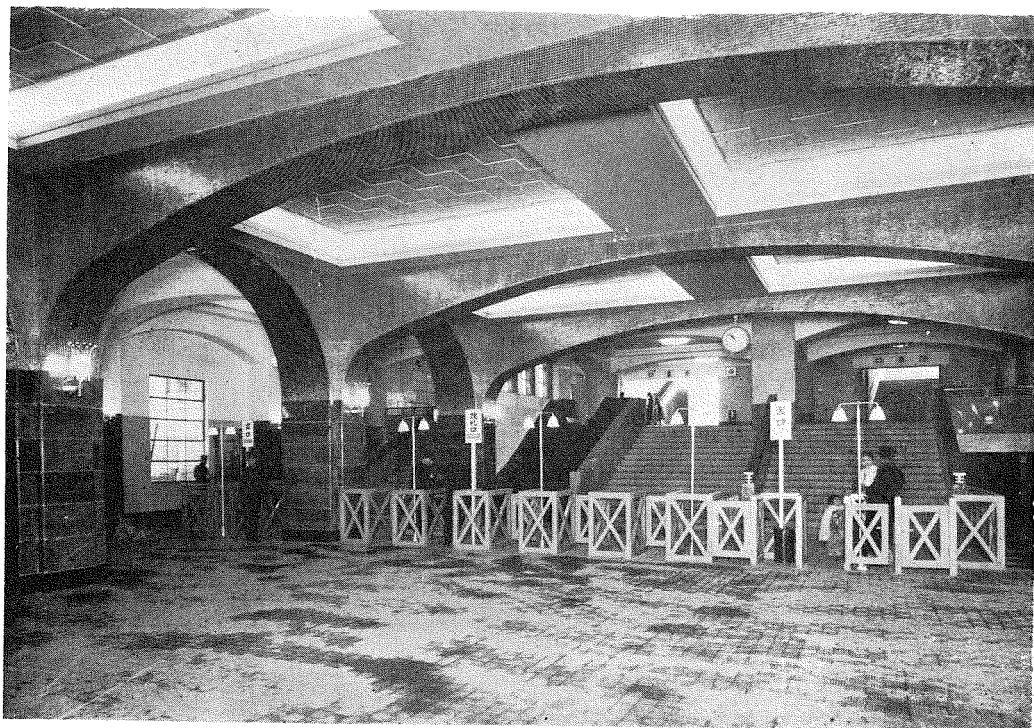
高架乗降場

構造 軌道床は鉄筋コンクリート四方向配筋フラットスラブ式、乗降場は鉄筋コンクリート造・アスファルト・ブロック敷。上家は鉄骨フラットアーチ、アイ・プレート葺、アスファルトルーフィング、側壁はリブ・プレート張。採光、通風の爲天窓、側窓

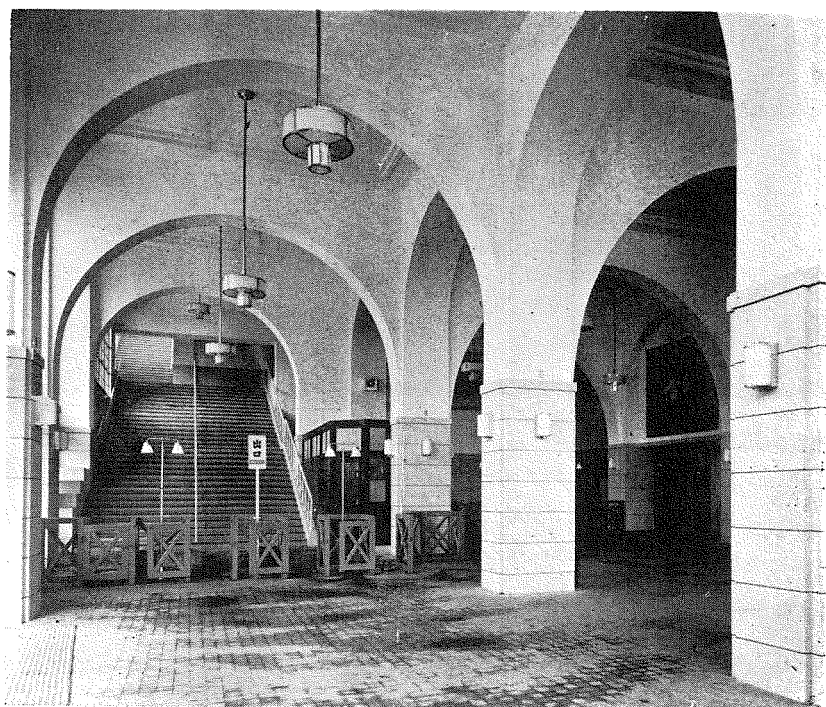
を設く

配線竝に乗降ホーム。特急車線、普通車線、に豫備線の三線に對し巾員3米5乃至5米、長100米の中島式乗降ホーム4本を設け三宮口、生田口に夫々4ヶ所の乗降階段並に2基のエスカレーターを設置す

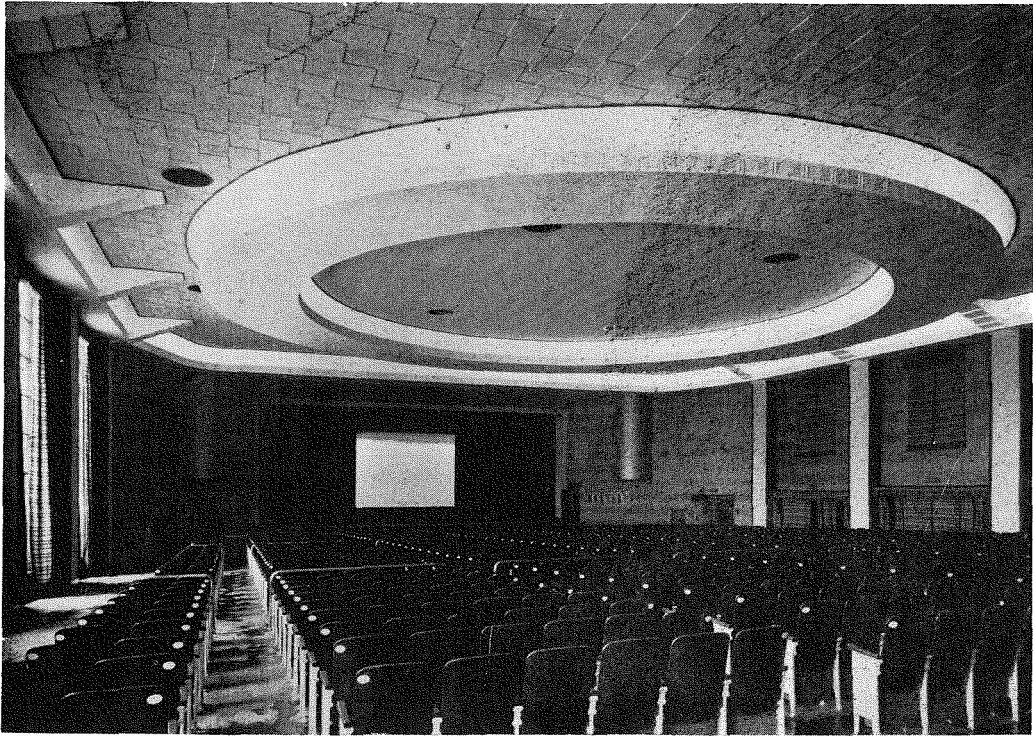
生田口建物工事



(4) 三ノ宮口待
合室。



(5) 生田口待
合室。



(6) 集會席 (3階にあり1,208の椅子を備ふ)

構造 鐵筋コンクリート、地下1階地上2階建

高さ 地上18.40米(61尺) 塔最高部23.80米(78.5尺)

設備 乗降場待合(一階)食堂(二階)の用途に對しエスカレーター1基、冷煖房換氣、其他三宮口建物同様の諸設備をなす

設計者並に主なる工事施行者

高架橋並に終端驛建物設計

阿部美樹志事務所

高架橋並橋梁架設工事
線路砂利撒布並に道路工事一切

株式會社間組

神戶終端驛建築工事同附帶工事一切

合名會社竹中工務店

橋梁製作 汽車製造株式會社

鐵道工事

工事期間 起工 昭和十年三月一日

竣工 昭和十一年三月 末

工事區間並に延長

既成上筒井點1軒582.60より分岐省線灘驛西方より省線高架線に平行三宮驛前より加納町市電軌道を横斷神戶終點に至る總延長3軒266

停留場

分岐點 西 灘 上筒井線分岐す

中間驛 春日野道 春日野遊歩道路東約五町

終端 神戶	三宮口 生田口	加納町筋 方面の御
		省三宮驛 乗降に便
	生田筋 方面の御	
	元 町 乗降に便	

高架橋の構造

一般高架橋は鐵筋コンクリート、ビーム、ガーダー、スラブ式、架道橋は鐵骨、鐵筋コンクリート、ビーム、ガーダー、スラブ、鐵筋コンクリート拱橋、又は隱蔽式鋼鈹桁とす。